ミュージカル＆ステージスタッフ科

（昼間部・２年制）

シラバス

全設置授業科目数	58	うち実務教員授業科目総数	36
全設置授業時間数	1904	うち実務教員授業時間数	866
法令で定める基準授業時数シラバス提出分の授業科目数			5
法令で定める基準授業時数シラバス提出分の授業時数			162

１年次　ミュージカル＆ステージスタッフ科　【１ＳＳ】

系列	授業科目	授業時数 前期	授業時数 後期	単位	担当	実務教員による授業		シラバス添付の授業		備考
共通科目	基礎知識習得トレーニング	30	4	2	溝淵ほか					講義
	ビジネス基礎講座	8	8	1	芹沢ほか					講義
	音響用語	28		1	楠元ほか	○	28			講義
	音響概論	16		1	原田	○	16			講義
	電気電子の基礎	16		1	末永	○	16			講義
	電気音声信号		16	1	照井	○	16			講義
	音響機器Ⅰ	22		1	照井	○	22			講義
	音楽史	32		2	松山	○	32			講義
	舞台機構講座	8	16	1	見上・吉井	○	24			講義
	映像音響検定講座		16	1	永谷	○	16			講義
	効果音制作		20	1	石丸・吉井・金子(智)	○	20	☆	20	講義
	動画音声制作概論	8	8	1	染谷・山田	○	16			講義
	演習　企画立案／シナリオ	8	8	1	見上	○	16			演習
	パッケージメディア研究	15	15	2	見上・塩田	○	30			講義
	英語	20		1	コールマン					講義
	音響工作	16		1	下久保	○	16			演習
	演習　機器オペレーションⅠ	36	4	2	溝淵ほか					演習
	演習　機器オペレーションⅡ	12	8	1	波多腰・溝淵					演習
	実習　音響実技	36		1	波多腰	○	36			実習
	Ｏｎｇｅｉ実技判定	10	10	1	溝淵					演習
	演習　クリエイティブソフトウェア実技Ⅰ	28	20	3	楠元・波多腰	○	48			演習
	照明概論	16		1	赤本	○	16			講義
	聴能形成	8	8	1	見上	○	16			講義
専門科目	ステージワーク・スタジオワーク	12	12	1	波多腰・溝淵					演習
	演習　ダビングミックス		32	2	波多腰	○	32			演習
	演習　舞台制作の基礎		34	2	溝淵ほか					演習
	ＰＡシステム	16	16	2	金子(峻)・福西ほか	○	32			演習
	音響機器実技判定		16	1	近藤	○	16			演習
	演習　ホールＳＲⅠ		16	1	加藤	○	16			演習
	舞台音響演出		20	1	吉井	○	20			講義
	演劇・ミュージカル研究Ⅰ		30	2	見上ほか	○	30			講義
	演習　照明実技Ⅰ		20	1	赤本	○	20			演習
	演習　ステージ課題制作		64	4	吉井・溝淵	○	64	☆	64	演習
	ステージ制作インターンシップ		16	1	各担当					実習
総合・その他	研修オリエンテーション	4			各担当					講義
	演習音芸オリエンテーションⅠ	30		2	各担当					演習
	企業研究	2	2		進路指導部					講義
	ワークガイダンス	2	4		各担当					講義
	企業インターンシップ	8	8	1	各担当					実習
	ガイダンス	12	8		溝淵ほか					講義
	合計	459	459	50			614		84	

２年次　ミュージカル＆ステージスタッフ科　【２ＳＳ】

系列	授業科目	授業時数 前期	授業時数 後期	単位	担当	実務教員による授業		シラバス添付の授業		備考
共通科目	エンタテインメントコンテンツ制作各論	22		1	磨知・加島 砂川・米田	○	22			講義
	演習 クリエイティブソフトウェア実技Ⅱ	18		1	高橋（喜）	○	18			演習
	映像制作概論	16		1	港	○	16			講義
	映像音響検定講座Ⅱ	16		1	永谷	○	16			講義
専門科目	立体音響入門	26		1	中原・染谷	○	26			講義
	演習 ショートムービー制作	40		2	高橋(喜)・波多腰	○	40			演習
	演習 音楽レコーディング	20		1	楠元	○	20			演習
	演習 舞台制作の基礎Ⅱ	46		2	上島・春風・ほか	○	46	☆	46	演習
	舞台音響	16		1	石丸・白石	○	16	☆	16	演習
	演劇・ミュージカル研究Ⅱ	22		1	見上					講義
	演習 照明実技Ⅱ	16		1	赤本	○	16	☆	16	演習
	舞台照明デザイン演習	16		1	高橋（登）	○	16			演習
	演習 機器オペレーションⅢ	18		1	近藤ほか					演習
	演劇・ミュージカル制作インターンシップ	40		1	ブイラボミュージカルほか					実習
総合・その他	演習 音芸オリエンテーション	30		2	各担当					演習
	ビジネス実務	16		1	近藤・高橋(喜)					講義
	卒業制作	32	560	25	近藤					実習
	ガイダンス	8	8		近藤					講義
	合計	418	568	44			252		78	

<table>
<tr><td>学科</td><td colspan="4">ミュージカル＆ステージスタッフ科</td><td>系列</td><td colspan="2">共通科目</td></tr>
<tr><td>授業科目</td><td colspan="4">基礎知識習得トレーニング</td><td>授業方法</td><td colspan="2">講義</td></tr>
<tr><td>開講年次</td><td>1年次</td><td>開講時期</td><td>前・後期</td><td>授業時数</td><td>34</td><td>単位</td><td>2</td></tr>
<tr><td>担当教員</td><td colspan="2">溝淵友香莉ほか</td><td>担当教員
実務経験</td><td colspan="4">―</td></tr>
<tr><td>授業概要</td><td colspan="7">履修科目のうち特に専門性の高い分野や学問的知識の必要となる内容の各種基礎知識について学ぶ。</td></tr>
<tr><td>到達目標</td><td colspan="7">これから学ぶ履修科目の内容の中で必要となる専門知識の基礎を築く。</td></tr>
<tr><td>授業計画
学習内容</td><td colspan="7">・数学（中学・高等学校基礎数学の復習）
・電気（中学・高等学校基礎数学の復習）
・物理（音響分野関連の基礎物理知識）
・PC関係（基礎システム、用語等）
・音楽（読譜、楽典等）
・一般教養</td></tr>
<tr><td>成績評価
方法</td><td colspan="7">100点を満点とし、筆記試験・レポート・出席点の総合評価で行い、60点以上に単位を付与する。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>学科</td><td colspan="4">ミュージカル＆ステージスタッフ科</td><td>系列</td><td colspan="2">共通科目</td></tr>
<tr><td>授業科目</td><td colspan="4">ビジネス基礎講座</td><td>授業方法</td><td colspan="2">講義</td></tr>
<tr><td>開講年次</td><td>1年次</td><td>開講時期</td><td>前・後期</td><td>授業時数</td><td>16</td><td>単位</td><td>1</td></tr>
<tr><td>担当教員</td><td colspan="2">芹沢恵里奈ほか</td><td>担当教員
実務経験</td><td colspan="4">―</td></tr>
<tr><td>授業概要</td><td colspan="7">社会人として他人とのコミュニケーションを円滑に行える能力を鍛える。</td></tr>
<tr><td>到達目標</td><td colspan="7">実社会や就職活動において役立つビジネスマナー、文章読解力、及び文章作成力を身につける。</td></tr>
<tr><td>授業計画
学習内容</td><td colspan="7">・会話における正しい表現や意味、敬語・謙譲語等の学習。
・テーマに即した意見文やレポート、メールを書けるようになる。
・就職活動時自己PRの作成方法。
・メールや電話での言葉使いなど、ビジネスマナー。</td></tr>
<tr><td>成績評価
方法</td><td colspan="7">100点を満点とし、課題の提出および出席点の総合評価で行い、60点以上に単位を付与する。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>学科</td><td colspan="4">ミュージカル＆ステージスタッフ科</td><td>系列</td><td colspan="2">共通科目</td></tr>
<tr><td>授業科目</td><td colspan="4">音響用語</td><td>授業方法</td><td colspan="2">講義</td></tr>
<tr><td>開講年次</td><td>1年次</td><td>開講時期</td><td>前期</td><td>授業時数</td><td>28</td><td>単位</td><td>1</td></tr>
<tr><td>担当教員</td><td colspan="2">楠元剛史ほか</td><td>担当教員
実務経験</td><td colspan="4">2001年～：音楽レコーディング業務。2009年～2011年：レコード会社制作部にてディレクター業務。</td></tr>
<tr><td>授業概要</td><td colspan="7">レコーディングスタジオで使われている技術用語を中心に、音響業務従事者の使う用語について、原理を含めて易しく解説を行う。</td></tr>
<tr><td>到達目標</td><td colspan="7">専門用語を知る。同じ用語に違う意味があることを知る。厳密な記憶ではなく概要をアバウトにとらえる。</td></tr>
<tr><td>授業計画
学習内容</td><td colspan="7">・マイクロホンと収音技術に関する用語
・ミキシングルームで日常使っている技術用語
・マルチチャンネル録音に関する用語
・サウンドエフェクタの基本原理と機能に関する用語
・デジタル技術に関連する基礎知識と用語</td></tr>
<tr><td>成績評価
方法</td><td colspan="7">100点を満点とし、課題提出および出席点の総合評価で行い、60点以上に単位を付与する。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>学科</td><td colspan="4">ミュージカル＆ステージスタッフ科</td><td>系列</td><td colspan="2">共通科目</td></tr>
<tr><td>授業科目</td><td colspan="4">音響概論</td><td>授業方法</td><td colspan="2">講義</td></tr>
<tr><td>開講年次</td><td>1年次</td><td>開講時期</td><td>前期</td><td>授業時数</td><td>16</td><td>単位</td><td>1</td></tr>
<tr><td>担当教員</td><td colspan="2">原田崇</td><td>担当教員
実務経験</td><td colspan="4">元ソリッド・ステート・ロジック・ジャパン(株)セールスエンジニア。音響機器メンテナンスの経験豊富。</td></tr>
<tr><td>授業概要</td><td colspan="7">「音とはなにか」をテーマにその学術的知識を深める。</td></tr>
<tr><td>到達目標</td><td colspan="7">音の特性について学術的（物理的概論）に理解する。</td></tr>
<tr><td>授業計画
学習内容</td><td colspan="7">・音の大きさ、速さ
・周波数、音色
・特性定位
・反射、回折、屈折
・音の理論
・音の出る仕組み</td></tr>
<tr><td>成績評価
方法</td><td colspan="7">100点を満点とし、筆記試験・出席点の総合評価で行い、60点以上に単位を付与する。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>学科</td><td colspan="4">ミュージカル＆ステージスタッフ科</td><td>系列</td><td colspan="2">共通科目</td></tr>
<tr><td>授業科目</td><td colspan="4">電気電子の基礎</td><td>授業方法</td><td colspan="2">講義</td></tr>
<tr><td>開講年次</td><td>1年次</td><td>開講時期</td><td>前期</td><td>授業時数</td><td>16</td><td>単位</td><td>1</td></tr>
<tr><td>担当教員</td><td colspan="2">末永信一</td><td>担当教員
実務経験</td><td colspan="4">SONY(株)にてリサーチャー、エンジニアとして長年勤務。現在は（一社）日本オーディオ協会専務理事</td></tr>
<tr><td>授業概要</td><td colspan="7">本校実習授業でも扱う音響映像機器の動作に必要不可欠な「電気」とは何かを知る。</td></tr>
<tr><td>到達目標</td><td colspan="7">電気電子の基礎知識を習得すると共に、問題意識を持って動作の想像力を養う。</td></tr>
<tr><td>授業計画
学習内容</td><td colspan="7">・オームの法則
・直流、交流について
・絶縁体、誘導体、半導体について
・アナログとデジタル
・映像、音声について</td></tr>
<tr><td>成績評価
方法</td><td colspan="7">100点を満点とし、筆記試験・出席点の総合評価で行い、60点以上に単位を付与する。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>学科</td><td colspan="4">ミュージカル＆ステージスタッフ科</td><td>系列</td><td colspan="2">共通科目</td></tr>
<tr><td>授業科目</td><td colspan="4">電気音声信号</td><td>授業方法</td><td colspan="2">講義</td></tr>
<tr><td>開講年次</td><td>1年次</td><td>開講時期</td><td>後期</td><td>授業時数</td><td>16</td><td>単位</td><td>1</td></tr>
<tr><td>担当教員</td><td colspan="2">照井和彦</td><td>担当教員
実務経験</td><td colspan="4">SONY(株)にてオーディオ商品の設計、広報、技術渉外等を行う。2015年よりオーディオ協会事務局長歴任。</td></tr>
<tr><td>授業概要</td><td colspan="7">電気、回路、機器についての学術的知識を深める。</td></tr>
<tr><td>到達目標</td><td colspan="7">電気、回路、機器についてより高度な内容を学び、各専門科目に応用できる知識を習得する。</td></tr>
<tr><td>授業計画
学習内容</td><td colspan="7">・オームの法則
・アース/接地
・補助記号
・平衡と不平衡
・インピーダンス
・電気部品、パーツ
・音響回路
・ダイナミックレンジとSN（シグナル・ノイズ比）
・各種レベルメーター</td></tr>
<tr><td>成績評価
方法</td><td colspan="7">100点を満点とし、筆記試験・出席点の総合評価で行い、60点以上に単位を付与する。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>学科</td><td colspan="4">ミュージカル＆ステージスタッフ科</td><td>系列</td><td colspan="2">共通科目</td></tr>
<tr><td>授業科目</td><td colspan="4">音響機器Ⅰ</td><td>授業方法</td><td colspan="2">講義</td></tr>
<tr><td>開講年次</td><td>1年次</td><td>開講時期</td><td>前期</td><td>授業時数</td><td>22</td><td>単位</td><td>1</td></tr>
<tr><td>担当教員</td><td colspan="2">照井和彦</td><td>担当教員
実務経験</td><td colspan="4">SONY(株)にてオーディオ商品の設計、広報、技術渉外等を行う。2015年よりオーディオ協会事務局長歴任。</td></tr>
<tr><td>授業概要</td><td colspan="7">音響業務で使用する機材について学ぶ。</td></tr>
<tr><td>到達目標</td><td colspan="7">音響機材の仕組みや構造を業務レベルで理解できるようになる。</td></tr>
<tr><td>授業計画
学習内容</td><td colspan="7">・スピーカーシステム
・ミキシングコンソール
・マイクロホン
・パワーアンプ
それぞれの音響機器の仕組み・構造・設計・ブロックダイアグラムの見方等</td></tr>
<tr><td>成績評価
方法</td><td colspan="7">100点を満点とし、筆記試験・出席点の総合評価で行い、60点以上に単位を付与する。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>学科</td><td colspan="4">ミュージカル＆ステージスタッフ科</td><td>系列</td><td colspan="2">共通科目</td></tr>
<tr><td>授業科目</td><td colspan="4">音楽史</td><td>授業方法</td><td colspan="2">講義</td></tr>
<tr><td>開講年次</td><td>1年次</td><td>開講時期</td><td>前期</td><td>授業時数</td><td>32</td><td>単位</td><td>2</td></tr>
<tr><td>担当教員</td><td colspan="2">松山文哉</td><td>担当教員
実務経験</td><td colspan="4">プロミュージシャン(ピアノ、キーボード)。
バックミュージシャンとして多くのプロアーティスト作品に参加。</td></tr>
<tr><td>授業概要</td><td colspan="7">音楽の歴史と変遷を知り、知識を広げる。</td></tr>
<tr><td>到達目標</td><td colspan="7">様々な音楽を実際に聞き、その変遷を追うことで、音楽についての知識を広げる。</td></tr>
<tr><td>授業計画
学習内容</td><td colspan="7">・アフロアメリカンミュージックとクラシック音楽の流れ
・ブルース
・ジャズ
・クラシック音楽
・カントリーミュージック
・R＆B
・ロック、ソウル、ファンク
・ボサノヴァ
・日本の古典音楽</td></tr>
<tr><td>成績評価
方法</td><td colspan="7">100点を満点とし、レポート・出席点の総合評価で行い、60点以上に単位を付与する。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>学科</td><td colspan="4">ミュージカル＆ステージスタッフ科</td><td>系列</td><td colspan="2">共通科目</td></tr>
<tr><td>授業科目</td><td colspan="4">舞台機構講座</td><td>授業方法</td><td colspan="2">講義</td></tr>
<tr><td>開講年次</td><td>1年次</td><td>開講時期</td><td>前・後期</td><td>授業時数</td><td>24</td><td>単位</td><td>1</td></tr>
<tr><td>担当教員</td><td colspan="2">見上陽一郎　吉井真</td><td>担当教員
実務経験</td><td colspan="4">映画スタジオに数年従事した後、舞台音響家歴30年以上。（吉井）、舞台機構調整技能1級技能士（見上）</td></tr>
<tr><td>授業概要</td><td colspan="7">劇場、ホールの技術スタッフに必要な知識を身につけるとともに、舞台技能調整技能士3級筆記試験の模擬試験に取り組む。</td></tr>
<tr><td>到達目標</td><td colspan="7">舞台機構調整技能検定3級筆記試験の合格</td></tr>
<tr><td>授業計画
学習内容</td><td colspan="7">●音響、照明、舞台装置などの舞台機構解説
●舞台機構調整技能検定3級筆記試験の過去問題集、
1～3級レベルの模擬問題集への解答と解説</td></tr>
<tr><td>成績評価
方法</td><td colspan="7">100点を満点とし、筆記試験・出席点の総合評価で行い、60点以上に単位を付与する。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>学科</td><td colspan="4">ミュージカル＆ステージスタッフ科</td><td>系列</td><td colspan="2">共通科目</td></tr>
<tr><td>授業科目</td><td colspan="4">映像音響検定講座</td><td>授業方法</td><td colspan="2">講義</td></tr>
<tr><td>開講年次</td><td>1年次</td><td>開講時期</td><td>後期</td><td>授業時数</td><td>16</td><td>単位</td><td>1</td></tr>
<tr><td>担当教員</td><td colspan="2">永谷喜美雄</td><td>担当教員
実務経験</td><td colspan="4">(株)東京ｻｳﾝﾄﾞﾌﾟﾛﾀﾞｸｼｮﾝにて長年映像技術者として勤務。現在フリーのビデオエディター。</td></tr>
<tr><td>授業概要</td><td colspan="7">JPPA映像音響処理技術者資格認定試験、試験対策。</td></tr>
<tr><td>到達目標</td><td colspan="7">JPPA映像音響処理技術者資格認定試験合格を目標とする。</td></tr>
<tr><td>授業計画
学習内容</td><td colspan="7">・テレビ放送の歴史/映像制作の流れ
・テレビモニターの画像表示の仕組み
・色とはなにか？～光と色の関係～
・カメラについて
・映像信号について
・映像端子の種類
・映像編集とは？
・映像の効果/合成の種類
・タイムコード</td></tr>
<tr><td>成績評価
方法</td><td colspan="7">100点を満点とし、筆記試験・出席点の総合評価で行い、60点以上に単位を付与する。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>学科</td><td colspan="4">ミュージカル＆ステージスタッフ科</td><td>系列</td><td colspan="2">共通科目</td></tr>
<tr><td>授業科目</td><td colspan="4">効果音制作</td><td>授業方法</td><td colspan="2">講義</td></tr>
<tr><td>開講年次</td><td>1年次</td><td>開講時期</td><td>後期</td><td>授業時数</td><td>20</td><td>単位</td><td>1</td></tr>
<tr><td>担当教員</td><td colspan="2">石丸耕一　吉井真
金子智充</td><td>担当教員
実務経験</td><td colspan="4">担当教員の実務経験は授業計画学習内容欄に記載</td></tr>
<tr><td>授業概要</td><td colspan="7">効果音の役割・使い方・作り方</td></tr>
<tr><td>到達目標</td><td colspan="7">制作実習・卒業制作で台本を読み解き、効果音を制作できるようになる</td></tr>
<tr><td>授業計画
学習内容</td><td colspan="7">●効果音の役割と使い方と作り方の説明。台本の読み解き方・演出をシュミレートする。
担当：吉井
実務経験：映画スタジオに数年従事した後、舞台音響家歴30年以上。

●効果音の作成方法について。レクチャー後は学生が実際に効果音を作成し、録音したコンテンツを試聴してみる。
担当：石丸
実務経験：舞台音響家として歌舞伎座、新橋演舞場などで伝統芸能や商業演劇の音響に従事。東京芸術劇場統括。

●ゲームの効果音について。サウンドデザインの企画や演出、ゲームサウンドの制作行程について実務経験をもとにレクチャーする。
担当：金子
実務経験：ゲームコンテンツ制作会社でサウンドデザイナーとして勤務。</td></tr>
<tr><td>成績評価
方法</td><td colspan="7">100点を満点とし、演習評価・レポート・出席点の総合評価で行い、60点以上に単位を付与する。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>学科</td><td colspan="4">ミュージカル＆ステージスタッフ科</td><td>系列</td><td colspan="2">共通科目</td></tr>
<tr><td>授業科目</td><td colspan="4">動画音声制作概論</td><td>授業方法</td><td colspan="2">講義</td></tr>
<tr><td>開講年次</td><td>1年次</td><td>開講時期</td><td>前・後期</td><td>授業時数</td><td>16</td><td>単位</td><td>1</td></tr>
<tr><td>担当教員</td><td colspan="2">染谷和孝　ほか</td><td>担当教員
実務経験</td><td colspan="4">サウンドデザイナーとして多くの映画・ゲーム作品のサラウンド音響を手掛ける。(染谷)</td></tr>
<tr><td>授業概要</td><td colspan="7">サウンドデザインの起源を知り、クリティカルリスニングについて考察する。
現場でのサウンドデザイン・効果音制作を学び、フィルムスコアーと
その役割についても考える。</td></tr>
<tr><td>到達目標</td><td colspan="7">そもそもサウンドデザインとは何かを考え、映像付随の音楽・音響について
新たな地平を見据えて行く。</td></tr>
<tr><td>授業計画
学習内容</td><td colspan="7">①サウンドデザインの起源とその意味
②「クリティカルリスニング」からの見えてくるもの
③実際のサウンドデザインとは？効果音制作の基礎①
④フィルムスコアーとその役割
⑤実際のサウンドデザインとは？効果音制作の基礎②
⑥Foley概要と制作方法の基礎</td></tr>
<tr><td>成績評価
方法</td><td colspan="7">100点を満点とし、演習評価・レポート・出席点の総合評価で行い、60点以上に単位を付与する。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>学科</td><td colspan="4">ミュージカル＆ステージスタッフ科</td><td>系列</td><td colspan="2">共通科目</td></tr>
<tr><td>授業科目</td><td colspan="4">演習　企画立案／シナリオ</td><td>授業方法</td><td colspan="2">演習</td></tr>
<tr><td>開講年次</td><td>1年次</td><td>開講時期</td><td>前・後期</td><td>授業時数</td><td>16</td><td>単位</td><td>1</td></tr>
<tr><td>担当教員</td><td colspan="2">見上陽一郎</td><td>担当教員
実務経験</td><td colspan="4">制作会社にて万国博上映動画の企画制作、音楽ライブイベントの企画制作に長年従事</td></tr>
<tr><td>授業概要</td><td colspan="7">企画の立て方、企画書作成法、様々な媒体によるシナリオフォーマットにつて学ぶ</td></tr>
<tr><td>到達目標</td><td colspan="7">企画立案、企画書作成、シナリオ作成とシナリオの読み解きができるようになる</td></tr>
<tr><td>授業計画
学習内容</td><td colspan="7">●企画や企画書はなぜ必要か
●ブレインストーミング演習
●企画の5W1H
●企画書作成演習
●シナリオの各種フォーマット
●シナリオ作成演習（動画、音声ドラマ）</td></tr>
<tr><td>成績評価
方法</td><td colspan="7">100点を満点とし、筆記試験・実技試験・レポート・出席点の総合評価で行い、60点以上に単位を付与する。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>学科</td><td colspan="4">ミュージカル＆ステージスタッフ科</td><td>系列</td><td colspan="2">共通科目</td></tr>
<tr><td>授業科目</td><td colspan="4">パッケージメディア研究</td><td>授業方法</td><td colspan="2">講義</td></tr>
<tr><td>開講年次</td><td>1年次</td><td>開講時期</td><td>前・後期</td><td>授業時数</td><td>30</td><td>単位</td><td>2</td></tr>
<tr><td>担当教員</td><td colspan="2">見上陽一郎　塩田修</td><td>担当教員
実務経験</td><td colspan="4">制作会社にて万国博上映動画の企画制作（見上）、レコーディングエンジニアとしてSony Music勤務後フリーランスで活躍（塩田）</td></tr>
<tr><td>授業概要</td><td colspan="7">音楽ソフト、動画ソフトの制作手法を学び、作品の鑑賞、分析を行う</td></tr>
<tr><td>到達目標</td><td colspan="7">音楽ソフト、動画ソフトの制作手法を知り、鑑賞力を高める。</td></tr>
<tr><td>授業計画
学習内容</td><td colspan="7">1.音楽ソフトの制作工程
2.音楽ソフトの鑑賞と制作手法の分析
3.動画の単位
4.ショットの決定要素と名称及び心理的効果
5.モンタージュの基礎
6.動画作品における音の演出法
7.ドキュメンタリー作品をめぐる考察</td></tr>
<tr><td>成績評価
方法</td><td colspan="7">100点を満点とし、レポート・出席点の総合評価で行い、60点以上に単位を付与する。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>学科</td><td colspan="4">ミュージカル＆ステージスタッフ科</td><td>系列</td><td colspan="2">共通科目</td></tr>
<tr><td>授業科目</td><td colspan="4">英語</td><td>授業方法</td><td colspan="2">講義</td></tr>
<tr><td>開講年次</td><td>1年次</td><td>開講時期</td><td>前期</td><td>授業時数</td><td>20</td><td>単位</td><td>1</td></tr>
<tr><td>担当教員</td><td colspan="2">ブレット コールマン</td><td>担当教員
実務経験</td><td colspan="4">ー</td></tr>
<tr><td>授業概要</td><td colspan="7">簡単な英会話、英語の聞き取りを反復的に演習</td></tr>
<tr><td>到達目標</td><td colspan="7">英語に対する苦手意識を軽減し、制作現場で英語でコミュニケーションを取る勇気と自信を醸成する</td></tr>
<tr><td>授業計画
学習内容</td><td colspan="7">●英語での自己紹介
●簡単な会話の聞き取りと意味、文法解説
●英語楽曲のディクテーション

担当講師紹介：
米国シアトル出身、来日後３５年にわたり俳優英語教師として活動</td></tr>
<tr><td>成績評価
方法</td><td colspan="7">100点を満点とし、筆記および実技試験・出席点の総合評価で行い、60点以上に単位を付与する。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>学科</td><td colspan="4">ミュージカル＆ステージスタッフ科</td><td>系列</td><td colspan="2">共通科目</td></tr>
<tr><td>授業科目</td><td colspan="4">演習　音響工作</td><td>授業方法</td><td colspan="2">演習</td></tr>
<tr><td>開講年次</td><td>1年次</td><td>開講時期</td><td>前期</td><td>授業時数</td><td>16</td><td>単位</td><td>1</td></tr>
<tr><td>担当教員</td><td colspan="2">下久保将人</td><td>担当教員
実務経験</td><td colspan="4">音響・映像に関わる多くの設備工事に10年以上携わる。</td></tr>
<tr><td>授業概要</td><td colspan="7">音響・映像設備で使われている、
ケーブルやコネクタの知識を身に着ける。</td></tr>
<tr><td>到達目標</td><td colspan="7">ＸＬＲコネクタ・ＴＲＳコネクタの正しいピンアサインを知り、
テスターでチェックが出来るようになる。
可能であれば端末も出来るようになる。</td></tr>
<tr><td>授業計画
学習内容</td><td colspan="7">・一回目：
設備におけるケーブル・コネクタについて。

・二回目：
テスターの使い方。電池について。機材のマウント方法。
ヘッドホンの解体・組み立て。

・三・四回目：
ユニバーサル基板のハンダ付。ケーブルへのコネクタ付。
コネクタ外し。

・五回目：テスト
内容は。ＸＬＲ３Ｐｉｎオス ー ＸＬＲ３Ｐｉｎメス 一本 作成と
テスターでの自己チェックをして提出。
評価はその授業時間内にて。</td></tr>
<tr><td>成績評価
方法</td><td colspan="7">100点を満点とし、実技試験・出席点の総合評価で行い、60点以上に単位を付与する。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>学科</td><td colspan="4">ミュージカル＆ステージスタッフ科</td><td>系列</td><td colspan="2">共通科目</td></tr>
<tr><td>授業科目</td><td colspan="4">演習　機器オペレーションⅠ</td><td>授業方法</td><td colspan="2">演習</td></tr>
<tr><td>開講年次</td><td>1年次</td><td>開講時期</td><td>前・後期</td><td>授業時数</td><td>40</td><td>単位</td><td>2</td></tr>
<tr><td>担当教員</td><td colspan="2">溝淵友香莉ほか</td><td>担当教員
実務経験</td><td colspan="4">―</td></tr>
<tr><td>授業概要</td><td colspan="7">各実習に先立ち、基本的な音響機材の名称や使用法を学ぶ。（前半）
遠隔講義、座学、各演習で習得した技術を実践する。（後半）</td></tr>
<tr><td>到達目標</td><td colspan="7">基本的な技術の習得と実践を通し、学生の自主性、コミュニケーション能力を鍛える。</td></tr>
<tr><td>授業計画
学習内容</td><td colspan="7">（前半）
・ケーブル、コネクタ、端子等の名称
・ケーブル巻き
・音響卓の使い方
・マイクスタンドの扱い方
・回線チェックのやり方
・エフェクターの使い方
（後半）
・学内実習施設での演習</td></tr>
<tr><td>成績評価
方法</td><td colspan="7">100点を満点とし、筆記試験・出席点の総合評価で行い、60点以上に単位を付与する。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>学科</td><td colspan="4">ミュージカル＆ステージスタッフ科</td><td>系列</td><td colspan="2">共通科目</td></tr>
<tr><td>授業科目</td><td colspan="4">演習　機器オペレーションⅡ</td><td>授業方法</td><td colspan="2">演習</td></tr>
<tr><td>開講年次</td><td>1年次</td><td>開講時期</td><td>前・後期</td><td>授業時数</td><td>20</td><td>単位</td><td>1</td></tr>
<tr><td>担当教員</td><td colspan="2">波多腰英靖
溝淵友香莉</td><td>担当教員
実務経験</td><td colspan="4">―</td></tr>
<tr><td>授業概要</td><td colspan="7">学内実習教室の使用法説明</td></tr>
<tr><td>到達目標</td><td colspan="7">学生が主体となり安全な学内実習施設の使用を目論む</td></tr>
<tr><td>授業計画
学習内容</td><td colspan="7">・LiveQ教室（演劇・ミュージカルの音響および照明技術等実習教室）説明
・本館801教室（音楽イベントの音響および照明技術等実習教室）説明
・本館9Fスタジオ（音楽レコーディング等実習スタジオ）説明
・メディアセンター地下スタジオ（映像音響等実習スタジオ）説明</td></tr>
<tr><td>成績評価
方法</td><td colspan="7">授業への積極的な参加・出席状況にて評価し単位を付与</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>学科</td><td colspan="4">ミュージカル＆ステージスタッフ科</td><td>系列</td><td colspan="2">共通科目</td></tr>
<tr><td>授業科目</td><td colspan="4">実習　音響実技</td><td>授業方法</td><td colspan="2">実習</td></tr>
<tr><td>開講年次</td><td>1年次</td><td>開講時期</td><td>前期</td><td>授業時数</td><td>36</td><td>単位</td><td>1</td></tr>
<tr><td>担当教員</td><td colspan="2">波多腰英靖</td><td>担当教員
実務経験</td><td colspan="4">2000年より録音スタジオ勤務を経て、レコーディングエンジニアとして活動中。１級舞台機構調整技能士。</td></tr>
<tr><td>授業概要</td><td colspan="7">音を聞く、収音する、記録する、編集する
といった基礎的な音響作業の習熟</td></tr>
<tr><td>到達目標</td><td colspan="7">音のモニタリング能力を開拓
フィールドワーク機器を用いた録音作業の習得
ノンリニア編集による作品作成過程の習得</td></tr>
<tr><td>授業計画
学習内容</td><td colspan="7">各作業においてのモニタリング
・音のモニタリングについて
サウンドドラマ素材のためのロケ実習
ロケを通じた収音、録音作業習得
・マイクロホン使用法
・レコーダー使用法
・ロケ実習
ProToolsを用いた音源制作作業
・音源制作実習</td></tr>
<tr><td>成績評価
方法</td><td colspan="7">100点を満点とし、作品提出課題と授業への積極的な参加状況を総合的に評価し、60点以上に単位を付与する。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>学科</td><td colspan="4">ミュージカル＆ステージスタッフ科</td><td>系列</td><td colspan="2">共通科目</td></tr>
<tr><td>授業科目</td><td colspan="4">Ongei実技判定</td><td>授業方法</td><td colspan="2">演習</td></tr>
<tr><td>開講年次</td><td>1年次</td><td>開講時期</td><td>前・後期</td><td>授業時数</td><td>20</td><td>単位</td><td>1</td></tr>
<tr><td>担当教員</td><td colspan="2">溝淵友香莉</td><td>担当教員
実務経験</td><td colspan="4">―</td></tr>
<tr><td>授業概要</td><td colspan="7">基礎的音響作業の習熟を図る。各項目の作業習得のため反復練習を行う。</td></tr>
<tr><td>到達目標</td><td colspan="7">音響作業に共通する初歩的動作の習得
3級舞台機構調整技能士実技試験への準備</td></tr>
<tr><td>授業計画
学習内容</td><td colspan="7">ケーブル巻き(8の字)習得
マイクスタンドの実務的活用を習熟
各種チェック作業の習得</td></tr>
<tr><td>成績評価
方法</td><td colspan="7">実技判定試験により100点満点で採点</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>学科</td><td colspan="4">ミュージカル＆ステージスタッフ科</td><td>系列</td><td colspan="2">共通科目</td></tr>
<tr><td>授業科目</td><td colspan="4">演習　クリエイティブソフトウェア実技Ⅰ</td><td>授業方法</td><td colspan="2">演習</td></tr>
<tr><td>開講年次</td><td>1年次</td><td>開講時期</td><td>前・後期</td><td>授業時数</td><td>48</td><td>単位</td><td>3</td></tr>
<tr><td>担当教員</td><td colspan="2">楠元剛史
波多腰英靖</td><td>担当教員
実務経験</td><td colspan="4">担当教員の実務経験は授業計画欄に記載</td></tr>
<tr><td>授業概要</td><td colspan="7">コンピューターを道具とする考え方、その際の留意点等の習得を図る</td></tr>
<tr><td>到達目標</td><td colspan="7">コンピューター環境でのデータ管理習熟
ProToolsを用いた録音、編集、ミックス作業の習得</td></tr>
<tr><td>授業計画
学習内容</td><td colspan="7">Apple製デスクトップコンピューターでのデータ管理方法演習
ProToolsを用いて演習課題へ取り組む
・ProToolsData構築
・ProToolsでの録音作業
・ProToolsでの編集作業
・ProToolsを用いての課題提出

担当教員の実務経験：
・2001年～：音楽レコーディング業務。2009年～2011年：レコード会社制作部にてディレクター業務。（楠元）
・年より録音スタジオ勤務を経て、レコーディングエンジニアとして活動中。１級舞台機構調整技能士。（波多腰）</td></tr>
<tr><td>成績評価
方法</td><td colspan="7">100点を満点とし、課題提出や授業への積極的な参加状況を総合的に評価し、60点以上に単位を付与する。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>学科</td><td colspan="4">ミュージカル＆ステージスタッフ科</td><td>系列</td><td colspan="2">共通科目</td></tr>
<tr><td>授業科目</td><td colspan="4">照明概論</td><td>授業方法</td><td colspan="2">講義</td></tr>
<tr><td>開講年次</td><td>1年次</td><td>開講時期</td><td>前期</td><td>授業時数</td><td>16</td><td>単位</td><td>1</td></tr>
<tr><td>担当教員</td><td colspan="2">赤本龍太</td><td>担当教員
実務経験</td><td colspan="4">長年に渡り、ライブハウスの照明技術、音楽ライブ・演劇の照明デザイナーとして活躍。</td></tr>
<tr><td>授業概要</td><td colspan="7">ライブ照明と舞台照明の違いの説明、及び照明機材、灯体の説明。
遠隔講義での学習内容を踏まえ、実際に機材を使ってオペレーションをする。</td></tr>
<tr><td>到達目標</td><td colspan="7">照明機材の名称、使用法を理解し、場面に合わせたオペレーションを考えることができる。</td></tr>
<tr><td>授業計画
学習内容</td><td colspan="7">遠隔講義
・照明技士の仕事、現場における役割
・仕込みの手順説明
・灯体の種類、照明機材の分類、設置位置による名称
実演
・ライブ、舞台による照明アプローチの違い
・ライブ照明用指示シートの読み方、書き方
・舞台台本の照明デザイン
・照明卓の操作説明</td></tr>
<tr><td>成績評価
方法</td><td colspan="7">100点を満点とし、提出物および出席点などの総合評価で行い、60点以上に単位を付与する。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>学科</td><td colspan="4">ミュージカル＆ステージスタッフ科</td><td>系列</td><td colspan="2">共通科目</td></tr>
<tr><td>授業科目</td><td colspan="4">聴能形成</td><td>授業方法</td><td colspan="2">講義</td></tr>
<tr><td>開講年次</td><td>1年次</td><td>開講時期</td><td>前・後期</td><td>授業時数</td><td>16</td><td>単位</td><td>1</td></tr>
<tr><td>担当教員</td><td colspan="2">見上陽一郎</td><td>担当教員
実務経験</td><td colspan="4">「聴能トレーニングCD」（キングレコード）の制作を指揮、発売</td></tr>
<tr><td>授業概要</td><td colspan="7">音を聴き分ける能力を様々なトレーニング音源の聴き取り演習と、それに関する音響学的な解説を行う</td></tr>
<tr><td>到達目標</td><td colspan="7">音響技術者。音響コンテンツクリエイターに必要な音の聴き分け能力と関連知識を身に付ける</td></tr>
<tr><td>授業計画
学習内容</td><td colspan="7">毎回、技術解説とともに、聴能トレーニング用音源を教室内で再生し、答え合わせを行う。
・ピッチの弁別
・周波数の識別
・音圧の弁別
・音色の弁別
・リズムパターンの弁別
・音程の弁別
・読譜聴音
・連音の記憶　　など</td></tr>
<tr><td>成績評価
方法</td><td colspan="7">100点を満点とし、筆記試験・実技試験・出席点の総合評価で行い、60点以上に単位を付与する。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>学科</td><td colspan="4">ミュージカル＆ステージスタッフ科</td><td>系列</td><td colspan="2">専門科目</td></tr>
<tr><td>授業科目</td><td colspan="4">ステージワーク・スタジオワーク</td><td>授業方法</td><td colspan="2">演習</td></tr>
<tr><td>開講年次</td><td>1年次</td><td>開講時期</td><td>前・後期</td><td>授業時数</td><td>24</td><td>単位</td><td>1</td></tr>
<tr><td>担当教員</td><td colspan="2">波多腰英靖
溝淵友香莉</td><td>担当教員
実務経験</td><td colspan="4">ー</td></tr>
<tr><td>授業概要</td><td colspan="7">音楽ライブ及びその音声収録作業を通じて
技術スタッフとしての動きを体験、習熟につなげる</td></tr>
<tr><td>到達目標</td><td colspan="7">音楽ライブにおいての各種スタッフ体験
スタッフの基礎的動作再確認</td></tr>
<tr><td>授業計画
学習内容</td><td colspan="7">・遠隔コンテンツによる授業概要説明
　・ケーブルの巻き方、扱い方
　・マイクスタンドの立て方、マイクアレンジについて
　・回線表の読み方、書き方
・学内施設にて外部演奏家による音楽ライブ実施
　・音響、照明プランの立て方
　・アーティストとの打ち合わせの方法、マナー</td></tr>
<tr><td>成績評価
方法</td><td colspan="7">100点を満点とし、授業への参加姿勢・作品評価・レポート・出席点の総合評価で行い、60点以上に単位を付与する。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>学科</td><td colspan="4">ミュージカル＆ステージスタッフ科</td><td>系列</td><td colspan="2">専門科目</td></tr>
<tr><td>授業科目</td><td colspan="4">演習　ダビングミックス</td><td>授業方法</td><td colspan="2">演習</td></tr>
<tr><td>開講年次</td><td>1年次</td><td>開講時期</td><td>後期</td><td>授業時数</td><td>32</td><td>単位</td><td>2</td></tr>
<tr><td>担当教員</td><td colspan="2">波多腰英靖</td><td>担当教員
実務経験</td><td colspan="4">2000年より録音スタジオ勤務を経て、レコーディングエンジニアとして活動中。１級舞台機構調整技能士</td></tr>
<tr><td>授業概要</td><td colspan="7">「生もの」としての音を認識し
「生ものとしての音」を扱うことに慣れる</td></tr>
<tr><td>到達目標</td><td colspan="7">サンプラーを用いてリアルタイムでの音響作業を体験する</td></tr>
<tr><td>授業計画
学習内容</td><td colspan="7">課題台本からの作品理解演習
サンプラー操作の習熟
・SP404オペレーション
・abletonLive運用
サンプラー素材作成実習
・ProToolsを用いた素材作成
発表形式でのダビングミックス</td></tr>
<tr><td>成績評価
方法</td><td colspan="7">100点を満点とし、作品発表と授業への積極的な参加状況を総合的に評価し、60点以上に単位を付与する</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>学科</td><td colspan="4">ミュージカル＆ステージスタッフ科</td><td>系列</td><td colspan="2">専門科目</td></tr>
<tr><td>授業科目</td><td colspan="4">演習　舞台制作の基礎</td><td>授業方法</td><td colspan="2">演習</td></tr>
<tr><td>開講年次</td><td>1年次</td><td>開講時期</td><td>後期</td><td>授業時数</td><td>34</td><td>単位</td><td>1</td></tr>
<tr><td>担当教員</td><td colspan="2">溝淵友香莉ほか</td><td>担当教員
実務経験</td><td colspan="4">ー</td></tr>
<tr><td>授業概要</td><td colspan="7">舞台制作から公演までの一連の作業を学ぶ。
最終的には学内施設で公演を行う。</td></tr>
<tr><td>到達目標</td><td colspan="7">舞台制作の流れを理解し、台本に合った音響・照明のプランニングができる
ようになる。</td></tr>
<tr><td>授業計画
学習内容</td><td colspan="7">・座学
舞台制作の仕事とは
台本決め、本読み
音響・照明のプランニング
効果音
音楽の選曲と編集
・演習
仕込みからバラシまでの流れに慣れる
公演制作活動</td></tr>
<tr><td>成績評価
方法</td><td colspan="7">100点を満点とし、レポート・出席点の総合評価で行い、60点以上に単位を付与する。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>学科</td><td colspan="4">ミュージカル＆ステージスタッフ科</td><td>系列</td><td colspan="2">専門科目</td></tr>
<tr><td>授業科目</td><td colspan="4">PAシステム</td><td>授業方法</td><td colspan="2">演習</td></tr>
<tr><td>開講年次</td><td>1年次</td><td>開講時期</td><td>前・後期</td><td>授業時数</td><td>32</td><td>単位</td><td>2</td></tr>
<tr><td>担当教員</td><td colspan="2">金子俊士
福西夏未ほか</td><td>担当教員
実務経験</td><td colspan="4">担当教員の実務経験は授業計画欄に記載</td></tr>
<tr><td>授業概要</td><td colspan="7">ＰＡシステムのプランニングのために必要な知識、具体例を学ぶ。学内でのＰＡ実習を行う時に必要なプランニングが出来るように実際に図面を作成し、理解修得する。</td></tr>
<tr><td>到達目標</td><td colspan="7">仕込む際の工夫・注意点、トラブル時の対処を身を以て体感し、理解を深める。</td></tr>
<tr><td>授業計画
学習内容</td><td colspan="7">・PAの仕事
・回線表の見方
・セット図の見方
・回線プラン
・信号の流れ
・ステージ仕込み
・回線チェック
・ミキサーから音を出す
・自分のプランで仕込む

担当教員の実務経験：
・(有)iNOXサウンドデザインにてコンサートPA務や配信業務に携わったのち、現在はフリーランスエンジニアとして多岐にわたる音響業務を担当（福西）
・(株)ヴァーゴ、(株)ムーブオンを経て、現在はフリーランスエンジニアとして音響業務を担当（金子）</td></tr>
<tr><td>成績評価
方法</td><td colspan="7">100点を満点とし、レポート・出席点の総合評価で行い、60点以上に単位を付与する。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>学科</td><td colspan="4">ミュージカル＆ステージスタッフ科</td><td>系列</td><td colspan="2">専門科目</td></tr>
<tr><td>授業科目</td><td colspan="4">音響機器実技判定</td><td>授業方法</td><td colspan="2">演習</td></tr>
<tr><td>開講年次</td><td>1年次</td><td>開講時期</td><td>後期</td><td>授業時数</td><td>16</td><td>単位</td><td>1</td></tr>
<tr><td>担当教員</td><td colspan="2">近藤頌</td><td>担当教員
実務経験</td><td colspan="4">制作や舞台などの現場を経て、バンケットの音響・照明・映像・配信・設備管理実務に従事。2級舞台機構調整技能士。</td></tr>
<tr><td>授業概要</td><td colspan="7">舞台機構実技判定３級実技試験に向けた基礎訓練</td></tr>
<tr><td>到達目標</td><td colspan="7">舞台機構実技判定3級実技試験に合格できるようになる</td></tr>
<tr><td>授業計画
学習内容</td><td colspan="7">・班別（少人数）での個別指導
・実技全体の流れを練習
1.仕込み
2.回線チェック
3.ナレーター案内（3～5のコミュニケーション）
4.サウンドチェックリハーサル
5.本番
6.ばらし/原状復帰</td></tr>
<tr><td>成績評価
方法</td><td colspan="7">100点を満点とし、実技試験・出席点の総合評価で行い、60点以上に単位を付与する。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>学科</td><td colspan="4">ミュージカル＆ステージスタッフ科</td><td>系列</td><td colspan="2">専門科目</td></tr>
<tr><td>授業科目</td><td colspan="4">演習　ホールSR Ⅰ</td><td>授業方法</td><td colspan="2">演習</td></tr>
<tr><td>開講年次</td><td>1年次</td><td>開講時期</td><td>後期</td><td>授業時数</td><td>16</td><td>単位</td><td>1</td></tr>
<tr><td>担当教員</td><td colspan="2">加藤晴美</td><td>担当教員
実務経験</td><td colspan="4">(株)キャット、(株)クレア・ジャパンを経て
1998年に（有）ハルソニックを設立。</td></tr>
<tr><td>授業概要</td><td colspan="7">実践的なＰＡについて機材に触れながら学ぶ。
学外施設を使用し、機材の搬入・設営・撤去・搬出を学ぶ。</td></tr>
<tr><td>到達目標</td><td colspan="7">ホールでの音響機材使用について体験し、理解を深める。</td></tr>
<tr><td>授業計画
学習内容</td><td colspan="7">・スピーカーチューニング
・ プランニング
・コンソールの結線と使用法
・舞台での搬入から搬出まで
・大型機材の設置
（スピーカの設置、客席へのコンソール設置）</td></tr>
<tr><td>成績評価
方法</td><td colspan="7">100点を満点とし、レポート・出席点の総合評価で行い、60点以上に単位を付与する。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>学科</td><td colspan="4">ミュージカル＆ステージスタッフ科</td><td>系列</td><td colspan="2">専門科目</td></tr>
<tr><td>授業科目</td><td colspan="4">舞台音響演出</td><td>授業方法</td><td colspan="2">講義</td></tr>
<tr><td>開講年次</td><td>1年次</td><td>開講時期</td><td>後期</td><td>授業時数</td><td>20</td><td>単位</td><td>1</td></tr>
<tr><td>担当教員</td><td colspan="2">吉井真</td><td>担当教員
実務経験</td><td colspan="4">映画スタジオに数年従事した後、舞台音響家歴30年以上。</td></tr>
<tr><td>授業概要</td><td colspan="7">演劇における音響の役割と音の扱い方（演出）を学ぶ</td></tr>
<tr><td>到達目標</td><td colspan="7">舞台制作関係の実習演習で、基本的な音の考え方・扱いができるようになる</td></tr>
<tr><td>授業計画
学習内容</td><td colspan="7">映像（映画・舞台）を見て、音（音楽・効果音）の使われ方を考える。
LiveQの舞台実習教室にて、同一シチュエーションで、選曲や効果音の違い・音量の違いで、舞台の世界観や伝わるものの違いを体験する。
　演習内容：
　同一シチュエーションでの音楽や効果音の違いを体験
　選曲によるストーリーやイメージの違い
　効果音による、季節、時間、場所、情景などの表現
　体験で視聴した音の演出効果を考察</td></tr>
<tr><td>成績評価
方法</td><td colspan="7">100点を満点とし、レポート・出席点の総合評価で行い、60点以上に単位を付与する。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>学科</td><td colspan="4">ミュージカル＆ステージスタッフ科</td><td>系列</td><td colspan="2">専門科目</td></tr>
<tr><td>授業科目</td><td colspan="4">演劇・ミュージカル研究Ⅰ</td><td>授業方法</td><td colspan="2">講義</td></tr>
<tr><td>開講年次</td><td>1年次</td><td>開講時期</td><td>後期</td><td>授業時数</td><td>30</td><td>単位</td><td>2</td></tr>
<tr><td>担当教員</td><td colspan="2">見上陽一郎ほか</td><td>担当教員
実務経験</td><td colspan="4">コンテンツ／イベント企画制作実務経験５年以上</td></tr>
<tr><td>授業概要</td><td colspan="7">ミュージカルに関連した個人研究の後、パワーポイント等を用いた研究発表を行う。またクラスメートの発表を試聴して感想を伝えるトレーニングも行う。</td></tr>
<tr><td>到達目標</td><td colspan="7">ミュージカルに関する専門知識深めるとともに、プレゼンテーション能力、批評能力の育成を図る</td></tr>
<tr><td>授業計画
学習内容</td><td colspan="7">1. 教員から、学生によるプレゼンテーションの見本を兼ね
「ミュージカル概史」に関する授業をパワーポイントを用いて実施
2. 全学生が一人ずつ個人別に設定した研究テーマについて、教室内で解説
3. 聴衆役の学生たちから一人一人、発表内容／プレゼン技法などに関する感想を伝える</td></tr>
<tr><td>成績評価
方法</td><td colspan="7">100点を満点とし、プレゼンテーション出来栄え・出席点の総合評価で行い、60点以上に単位を付与する。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>学科</td><td colspan="4">ミュージカル＆ステージスタッフ科</td><td>系列</td><td colspan="2">専門科目</td></tr>
<tr><td>授業科目</td><td colspan="4">演習　照明実技Ⅰ</td><td>授業方法</td><td colspan="2">演習</td></tr>
<tr><td>開講年次</td><td>1年次</td><td>開講時期</td><td>後期</td><td>授業時数</td><td>20</td><td>単位</td><td>1</td></tr>
<tr><td>担当教員</td><td colspan="2">赤本龍太</td><td>担当教員
実務経験</td><td colspan="4">長年に渡り、ライブハウスの照明技術、音楽ライブ・演劇の照明デザイナーとして活躍。</td></tr>
<tr><td>授業概要</td><td colspan="7">音楽イベントを想定したプランニング・オペレート技術の実習</td></tr>
<tr><td>到達目標</td><td colspan="7">楽曲に合わせたプランニング・オペレート技術の習得</td></tr>
<tr><td>授業計画
学習内容</td><td colspan="7">1.オリエンテーション / 灯体の名称説明
2.照明卓及び灯体の吊り方レクチャー
3.実技試験へ向けた楽曲選定
4.実技試験へ向けたプランの相談
5.実技試験</td></tr>
<tr><td>成績評価
方法</td><td colspan="7">100点を満点とし、実技試験・出席点の総合評価で行い、60点以上に単位を付与する。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>学科</td><td colspan="4">ミュージカル＆ステージスタッフ科</td><td>系列</td><td colspan="2">専門科目</td></tr>
<tr><td>授業科目</td><td colspan="4">演習　ステージ課題制作</td><td>授業方法</td><td colspan="2">演習</td></tr>
<tr><td>開講年次</td><td>1年次</td><td>開講時期</td><td>後期</td><td>授業時数</td><td>64</td><td>単位</td><td>4</td></tr>
<tr><td>担当教員</td><td colspan="2">吉井 真　溝淵友香莉</td><td>担当教員
実務経験</td><td colspan="4">映画スタジオに数年従事した後、舞台音響家歴30年以上。（吉井）</td></tr>
<tr><td>授業概要</td><td colspan="7">プロの役者と共に、学生の照明と音響と舞台スタッフで舞台を作る</td></tr>
<tr><td>到達目標</td><td colspan="7">舞台制作の進め方を体験する</td></tr>
<tr><td>授業計画
学習内容</td><td colspan="7">●数班に分かれ、音響・照明・舞台スタッフを構成する。
●プロの演出家と役者とともに、
打ち合わせ～
稽古～
LiveQ仕込み～
場当たり～
ゲネプロ
を実践してみる。
●プロと言葉を交わし、舞台制作に必要な段取りやコミュニケーションや照明・音響の知識・技術の必要性を感じさせる。</td></tr>
<tr><td>成績評価
方法</td><td colspan="7">100点を満点とし、レポート・出席点の総合評価で行い、60点以上に単位を付与する。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>学科</td><td colspan="4">ミュージカル＆ステージスタッフ科</td><td>系列</td><td colspan="2">専門科目</td></tr>
<tr><td>授業科目</td><td colspan="4">ステージ制作インターンシップ</td><td>授業方法</td><td colspan="2">実習</td></tr>
<tr><td>開講年次</td><td>1年次</td><td>開講時期</td><td>後期</td><td>授業時数</td><td>16</td><td>単位</td><td>1</td></tr>
<tr><td>担当教員</td><td colspan="2">各担当</td><td>担当教員
実務経験</td><td colspan="4">ー</td></tr>
<tr><td>授業概要</td><td colspan="7">舞台制作会社、ミュージカル／演劇団体の公演スタッフとして実務経験を積む</td></tr>
<tr><td>到達目標</td><td colspan="7">舞台制作／音響／照明の実務について体験を通じて理解を深める</td></tr>
<tr><td>授業計画
学習内容</td><td colspan="7">1. 提携先舞台制作会社の制作担当者からの会社概要／業務内容／研修生の担当業務内容等の説明
2. 演劇／ミュージカル作品のロビーワーク全般（受付／案内／物販／特典サービス提供など）の体験
3. 提携先ミュージカル団体主催作品のワークショップ／オーディション／リハーサルの見学やスタッフとしての参加
4. 提携先ミュージカル団体主催作品に公演スタッフとして参加</td></tr>
<tr><td>成績評価
方法</td><td colspan="7">100点を満点とし、レポート評価で行い、60点以上に単位を付与する。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>学科</td><td colspan="4">ミュージカル＆ステージスタッフ科</td><td>系列</td><td colspan="2">総合・その他</td></tr>
<tr><td>授業科目</td><td colspan="4">研修　オリエンテーション</td><td>授業方法</td><td colspan="2">講義</td></tr>
<tr><td>開講年次</td><td>1年次</td><td>開講時期</td><td>前期</td><td>授業時数</td><td>4</td><td>単位</td><td>ー</td></tr>
<tr><td>担当教員</td><td colspan="2">各担当</td><td>担当教員
実務経験</td><td colspan="4">ー</td></tr>
<tr><td>授業概要</td><td colspan="7">学内教員による講話とオリエンテーリングによる新入生交流</td></tr>
<tr><td>到達目標</td><td colspan="7">専門学校で学ぶにあたっての心構え醸成と、新入生の交流促進</td></tr>
<tr><td>授業計画
学習内容</td><td colspan="7">1. 学内教員による講話
2. クラス／班に分かれて、学校周辺のオリエンテーリング
3.レポート作成</td></tr>
<tr><td>成績評価
方法</td><td colspan="7">ー</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>学科</td><td colspan="4">ミュージカル＆ステージスタッフ科</td><td>系列</td><td colspan="2">総合・その他</td></tr>
<tr><td>授業科目</td><td colspan="4">演習　音芸オリエンテーションⅠ</td><td>授業方法</td><td colspan="2">演習</td></tr>
<tr><td>開講年次</td><td>1年次</td><td>開講時期</td><td>前期</td><td>授業時数</td><td>30</td><td>単位</td><td>2</td></tr>
<tr><td>担当教員</td><td colspan="2">各担当</td><td>担当教員
実務経験</td><td colspan="4">ー</td></tr>
<tr><td>授業概要</td><td colspan="7">１・２年生合同の班編成で各コンテンツをローテーションで受講する。（コンテンツ内容及び担当教員は授業計画学習内容参照）</td></tr>
<tr><td>到達目標</td><td colspan="7">・学年、学科の枠をこえて学内で学生同士がつながりを持てるようにする
・先輩、後輩間に「教え・教えられ」の関係が生まれるきっかけの場の提供
・多様なコンテンツを通じて音響技術、技能習得へのモチベーションを高める</td></tr>
<tr><td>授業計画
学習内容</td><td colspan="7">見上…『エコーチェンバー』教室を使って反響音を作り出す
楠元…『ビートメイク』身近な音を加工、編集してビートを作ってみる
波多腰…『テープレコーダー』オープンリールの操作、録音、再生を体験☒
高橋…『タテ動画+アフレコ』動画撮影してアフレコ
溝淵…『ライブハウス∞体験』音響、照明、出演の体験
近藤…『吹奏楽比較試聴』コンクールの演奏を聴き、違いについて話し合う
芹沢…『Live2D制作』Live2Dを使って静止画を動かす体験</td></tr>
<tr><td>成績評価
方法</td><td colspan="7">100点を満点としレポート・出席点の総合評価で行い、60点以上に単位を付与する。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>学科</td><td colspan="4">ミュージカル＆ステージスタッフ科</td><td>系列</td><td colspan="2">総合・その他</td></tr>
<tr><td>授業科目</td><td colspan="4">企業研究</td><td>授業方法</td><td colspan="2">講義</td></tr>
<tr><td>開講年次</td><td>1年次</td><td>開講時期</td><td>前・後期</td><td>授業時数</td><td>4</td><td>単位</td><td>ー</td></tr>
<tr><td>担当教員</td><td colspan="2">進路指導部</td><td>担当教員
実務経験</td><td colspan="4">ー</td></tr>
<tr><td>授業概要</td><td colspan="7">本学の学生が興味を持つような、音響や照明、レコーディング、マスタリング関連会社の関係者を招き、特別講義をしていただく。</td></tr>
<tr><td>到達目標</td><td colspan="7">本学学生の就職目標となる各業種の職種やその職務内容を知り、自己の適性やその職種を目指すための学習計画や心構えを構築する。</td></tr>
<tr><td>授業計画
学習内容</td><td colspan="7">・音楽コンテンツ技術制作関連企業関係者による講義
・舞台技術制作関連企業関係者による講義
・放送技術制作関連企業関係者による講義
・専門機器取扱い企業やメーカー企業関係者による講義
・企業訪問
音楽録音スタジオ
映像編集スタジオ
PA技術会社
劇場／ホール　　等</td></tr>
<tr><td>成績評価
方法</td><td colspan="7">ー</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>学科</td><td colspan="4">ミュージカル＆ステージスタッフ科</td><td>系列</td><td colspan="2">総合・その他</td></tr>
<tr><td>授業科目</td><td colspan="4">ワークガイダンス</td><td>授業方法</td><td colspan="2">講義</td></tr>
<tr><td>開講年次</td><td>1年次</td><td>開講時期</td><td>前・後期</td><td>授業時数</td><td>6</td><td>単位</td><td>ー</td></tr>
<tr><td>担当教員</td><td colspan="2">各担当</td><td>担当教員
実務経験</td><td colspan="4">ー</td></tr>
<tr><td>授業概要</td><td colspan="7">音響／映像／舞台の制作、制作技術の現場について、その仕事内容、スタッフの種類、求められる適性などを知る</td></tr>
<tr><td>到達目標</td><td colspan="7">音響／映像／舞台の制作、制作技術の現場について、その仕事内容、スタッフの種類、求められる適性などを知る</td></tr>
<tr><td>授業計画
学習内容</td><td colspan="7">1. コンサート／演劇音響
2. レコーディングエンジニア
3. 放送音声（音声収録／音響効果選曲／MA）
4. 映画音響
5.動画撮影
6. 動画編集
7. 舞台照明／舞台装置
8. 制作／演出</td></tr>
<tr><td>成績評価
方法</td><td colspan="7">ー</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>学科</td><td colspan="4">ミュージカル＆ステージスタッフ科</td><td>系列</td><td colspan="2">総合・その他</td></tr>
<tr><td>授業科目</td><td colspan="4">企業インターンシップ</td><td>授業方法</td><td colspan="2">実習</td></tr>
<tr><td>開講年次</td><td>1年次</td><td>開講時期</td><td>前・後期</td><td>授業時数</td><td>16</td><td>単位</td><td>1</td></tr>
<tr><td>担当教員</td><td colspan="2">各担当</td><td>担当教員
実務経験</td><td colspan="4">ー</td></tr>
<tr><td>授業概要</td><td colspan="7">在学中の学生を一定期間、企業、団体に研修生としてお預けし、実務経験を踏ませる</td></tr>
<tr><td>到達目標</td><td colspan="7">実務経験を通じて、業界の現状を肌で知るとともに、社会人として自立するための心構えを醸成する。</td></tr>
<tr><td>授業計画
学習内容</td><td colspan="7">1.派遣先担当者との打ち合わせ
2.派遣先担当者からのブリーフィング
（企業、団体の業務内容、インターン生の活動内容やルール等に関する説明）
3.指定された期間、場所での現場就業体験</td></tr>
<tr><td>成績評価
方法</td><td colspan="7">100点を満点とし、レポート・出席点の総合評価で行い、60点以上に単位を付与する。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>学科</td><td colspan="4">ミュージカル＆ステージスタッフ科</td><td>系列</td><td colspan="2">総合・その他</td></tr>
<tr><td>授業科目</td><td colspan="4">ガイダンス</td><td>授業方法</td><td colspan="2">講義</td></tr>
<tr><td>開講年次</td><td>1年次</td><td>開講時期</td><td>前・後期</td><td>授業時数</td><td>20</td><td>単位</td><td>―</td></tr>
<tr><td>担当教員</td><td colspan="2">溝淵友香莉</td><td>担当教員
実務経験</td><td colspan="4">―</td></tr>
<tr><td>授業概要</td><td colspan="7">受講、学校生活、インターンシップ、就職活動などに関する指導、情報提供</td></tr>
<tr><td>到達目標</td><td colspan="7">受講、学校生活、インターンシップ、就職活動などに関する理解を促進し、学生が安心して就学できるよう支援する</td></tr>
<tr><td>授業計画
学習内容</td><td colspan="7">1. 新入生オリエンテーション（シラバス／学則解説など）
2. 重要度の高い新規カリキュラム開始にあたってのオリエンテーション
3. インターンシップ、アルバイト募集、就活促進等に関する詳細説明など</td></tr>
<tr><td>成績評価
方法</td><td colspan="7">―</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>学科</td><td colspan="4">ミュージカル＆ステージスタッフ科</td><td>系列</td><td colspan="2">共通科目</td></tr>
<tr><td>授業科目</td><td colspan="4">エンタテインメントコンテンツ制作各論</td><td>授業方法</td><td colspan="2">講義</td></tr>
<tr><td>開講年次</td><td>2年次</td><td>開講時期</td><td>前期</td><td>授業時数</td><td>22</td><td>単位</td><td>1</td></tr>
<tr><td>担当教員</td><td colspan="2">磨知 隆　加島貴彦
砂川幸子　米田理恵</td><td>担当教員
実務経験</td><td colspan="4">担当教員の実務経験は授業計画学習内容欄の担当者名後に()内記載</td></tr>
<tr><td>授業概要</td><td colspan="7">プロフェッショナルとしてエンタテインメント業界の様々なコンテンツ制作に携わる講師による講話</td></tr>
<tr><td>到達目標</td><td colspan="7">エンタテインメント業界の様々なコンテンツに対する理解を深める</td></tr>
<tr><td>授業計画
学習内容</td><td colspan="7">●ミュージックビデオ制作/ミュージックビデオ制作プロデュースとは・制作現場や運営の流れ・撮影から編集までの制作技法等。
担当：磨知（音楽番組専門局のスペースシャワーを経て、現在（株）629代表取締役社長。多くのPVやライブ映像の制作技術全般のプロデューサー及び統括を行う）
●映像制作 /放送・イベント・コンサートにおける新しい映像コンテンツの制作演出手法について（プロジェクションマッピング、CG等）。
担当：加島（映像プロデューサーとしてMV、TV-CM、Web動画等多くの作品を手がける。）
●舞台制作 / グランドミュージカルの制作に関する仕事内容・公演に関わる職種・公演を迎えるまでの流れ
担当：砂川（長年演劇等の舞台制作の現場にて多くの作品を手掛ける。東宝(株)演出部。）
●舞台制作 / 2.5Dミュージカルの制作に関する仕事内容・グッズ製作・デザイン・PR・配信映像の撮影
担当：米田（㈱S-SIZE代表取締役社長。ドラマ、舞台、配信演劇など様々な作品でプロデューサーを務める。）</td></tr>
<tr><td>成績評価
方法</td><td colspan="7">100点を満点とし、レポート・出席点の総合評価で行い、60点以上に単位を付与する。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>学科</td><td colspan="4">ミュージカル＆ステージスタッフ科</td><td>系列</td><td colspan="2">共通科目</td></tr>
<tr><td>授業科目</td><td colspan="4">演習　クリエイティブソフトウェア実技Ⅱ</td><td>授業方法</td><td colspan="2">演習</td></tr>
<tr><td>開講年次</td><td>2年次</td><td>開講時期</td><td>前期</td><td>授業時数</td><td>18</td><td>単位</td><td>1</td></tr>
<tr><td>担当教員</td><td colspan="2">髙橋喜郎</td><td>担当教員
実務経験</td><td colspan="4">(有)D.&A.MUSICにて長年CD・DVDのデュプリケートや映像編集、プロモーションに従事。</td></tr>
<tr><td>授業概要</td><td colspan="7">コンピューターを道具とする考え方、その際の留意点等の習得を図る</td></tr>
<tr><td>到達目標</td><td colspan="7">・AdobeCCの各アプリケーションでの作業習熟
・ProToolsを用いた作業、特にMA作業の習熟</td></tr>
<tr><td>授業計画
学習内容</td><td colspan="7">●Adobeプレミアを用いた映像編集／ソフトウェア使用法、作品・演出意図に合わせた編集法、画質調整、テロップ・エフェクト技法等
●Adobeフォトショップ・イラストレーターを用いた画像編集/ソフトウェア使用法、写真加工・色調整、描画法、テキストの扱い方、画像サイズ管理等
●ProToolsでのMA作業/音声の取込み、音声ファイル管理、整音技法等</td></tr>
<tr><td>成績評価
方法</td><td colspan="7">100点を満点とし、実技試験、作品提出、ならびに、授業への積極的な参加状況を総合的に評価し、60点以上に単位を付与する。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>学科</td><td colspan="4">ミュージカル＆ステージスタッフ科</td><td>系列</td><td colspan="2">共通科目</td></tr>
<tr><td>授業科目</td><td colspan="4">映像制作概論</td><td>授業方法</td><td colspan="2">講義　　遠隔</td></tr>
<tr><td>開講年次</td><td>2年次</td><td>開講時期</td><td>前期</td><td>授業時数</td><td>16</td><td>単位</td><td>1</td></tr>
<tr><td>担当教員</td><td colspan="2">港郁雄</td><td>担当教員
実務経験</td><td colspan="4">MAエンジニアとしてソニーPCL(株)に勤務。日本ポストプロダクション協会講師および映像音響処理技術者資格認定試験問題作成委員。</td></tr>
<tr><td>授業概要</td><td colspan="7">映像作品の編集から完成までの過程を映像と資料で講義</td></tr>
<tr><td>到達目標</td><td colspan="7">映像作品に関する職種や作業工程を知識として習得</td></tr>
<tr><td>授業計画
学習内容</td><td colspan="7">1.プリプロダクションとは
2.プロダクションとは
3.プロダクションの作業内容 / 演出・撮影・照明
4.プロダクションの作業内容 / 音声収録・CG,VFX合成
5.ポストプロダクションとは
6.MAとは
7.マスタリングとは
8.レポート課題作成</td></tr>
<tr><td>成績評価
方法</td><td colspan="7">100点を満点とし、レポート・出席点の総合評価で行い、60点以上に単位を付与する。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>学科</td><td colspan="4">ミュージカル＆ステージスタッフ科</td><td>系列</td><td colspan="2">共通科目</td></tr>
<tr><td>授業科目</td><td colspan="4">映像音響検定講座Ⅱ</td><td>授業方法</td><td colspan="2">講義</td></tr>
<tr><td>開講年次</td><td>2年次</td><td>開講時期</td><td>前期</td><td>授業時数</td><td>16</td><td>単位</td><td>1</td></tr>
<tr><td>担当教員</td><td colspan="2">永谷喜美雄</td><td>担当教員
実務経験</td><td colspan="4">(株)東京サウンドプロダクションにて長年映像技術者として勤務。現在フリーのビデオエディター。</td></tr>
<tr><td>授業概要</td><td colspan="7">映像・音響検定試験合格を目標に、極力身近な機材の話や実際のＴＶ番組制作の過程を折り込みながら興味深く解説をしていく。</td></tr>
<tr><td>到達目標</td><td colspan="7">検定試験受検者は資格取得。試験問題演習を行い、映像音響技術者に必要な知識を身につける。</td></tr>
<tr><td>授業計画
学習内容</td><td colspan="7">・ＴＶの原理／色彩と色温度。 磁気記録の原理／ＳＤＴＶとＨＤＴＶ
・ＶＴＲのフォーマットとビデオ信号の種類，デジタルビデオとアナログビデオの違い
・ビデオ編集の実際（合成などを含めて）
・ＴＶ番組，ビデオ作品の制作過程（編集を中心に）</td></tr>
<tr><td>成績評価
方法</td><td colspan="7">100点を満点とし、筆記試験・出席点の総合評価で行い、60点以上に単位を付与する。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>学科</td><td colspan="4">ミュージカル＆ステージスタッフ科</td><td>系列</td><td colspan="2">専門科目</td></tr>
<tr><td>授業科目</td><td colspan="4">立体音響入門</td><td>授業方法</td><td colspan="2">講義</td></tr>
<tr><td>開講年次</td><td>2年次</td><td>開講時期</td><td>前期</td><td>授業時数</td><td>26</td><td>単位</td><td>1</td></tr>
<tr><td>担当教員</td><td colspan="2">中原雅考
染谷和孝</td><td>担当教員
実務経験</td><td colspan="4">音響設計家として多数の音響スタジオ設計を手掛ける。(株)ソナ取締役（中原）
サウンドデザイナーとして多くの映画・ゲーム作品のサラウンド音響を手掛ける。(染谷)</td></tr>
<tr><td>授業概要</td><td colspan="7">音という物理現象を学ぶための基礎を学ぶ</td></tr>
<tr><td>到達目標</td><td colspan="7">オブジェクト臨場感、フィールド臨場感を意識した
3Dシーンベースのミックスを作る</td></tr>
<tr><td>授業計画
学習内容</td><td colspan="7">01. 音とは？
02. 音波の基本要素
03. 音場を構成している物理現象
04. 音場再現（Ambisonics）
05. 音場再現実習 1：ReaperとAmbisonicsプラグインの基礎知識
06. 音場再現実習 2：FOAエンコーディング（Ambisonics録音）
07. 音場再現実習 3：FOAデコーディング（3Dミックス）</td></tr>
<tr><td>成績評価
方法</td><td colspan="7">100点を満点とし、レポート・出席点の総合評価で行い、60点以上に単位を付与する。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>学科</td><td colspan="4">ミュージカル＆ステージスタッフ科</td><td>系列</td><td colspan="2">専門科目</td></tr>
<tr><td>授業科目</td><td colspan="4">演習　ショートムービー制作</td><td>授業方法</td><td colspan="2">演習</td></tr>
<tr><td>開講年次</td><td>2年次</td><td>開講時期</td><td>前期</td><td>授業時数</td><td>40</td><td>単位</td><td>2</td></tr>
<tr><td>担当教員</td><td colspan="2">髙橋喜郎
波多腰英靖</td><td>担当教員
実務経験</td><td colspan="4">有)D.&A.MUSICにて長年CD・DVDのデュプリケートや映像編集、プロモーションに従事。(高橋)
2000年より録音スタジオ勤務を経て、レコーディングエンジニアとして活動中。１級舞台機構調整技能士。(波多腰)</td></tr>
<tr><td>授業概要</td><td colspan="7">「一回作ってみる」をテーマに映像作品をグループで役割分担をしながら制作し作品の成り立ちについて理解を深める。視覚情報に対しての聴覚情報というアプローチで音についての認識を深める</td></tr>
<tr><td>到達目標</td><td colspan="7">実写の映像作品制作の体験および制作ノウハウと撮影技術全般の習得</td></tr>
<tr><td>授業計画
学習内容</td><td colspan="7">プリプロダクション
・撮影
・録音
・照明
ポストプロダクション
・アドビプレミアを用いた映像編集
・効果音制作および選曲
・ProToolsを用いたMA作業
合評</td></tr>
<tr><td>成績評価
方法</td><td colspan="7">100点を満点とし、作品提出・授業への積極的参加（出席点）の総合評価で行い、60点以上に単位を付与する。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>学科</td><td colspan="4">ミュージカル＆ステージスタッフ科</td><td>系列</td><td colspan="2">専門科目</td></tr>
<tr><td>授業科目</td><td colspan="4">演習　音楽レコーディング</td><td>授業方法</td><td colspan="2">演習</td></tr>
<tr><td>開講年次</td><td>2年次</td><td>開講時期</td><td>前期</td><td>授業時数</td><td>20</td><td>単位</td><td>1</td></tr>
<tr><td>担当教員</td><td colspan="2">楠元剛史</td><td>担当教員
実務経験</td><td colspan="4">2001年～：音楽レコーディング業務。2009年～2011年：
レコード会社制作部にてディレクター業務。</td></tr>
<tr><td>授業概要</td><td colspan="7">メジャーレコード会社の音楽スタジオ作業を踏襲しつつ、
「音楽」を題材としたスタジオ作業を体験する</td></tr>
<tr><td>到達目標</td><td colspan="7">音楽録音スタジオ業務の体験をし、作業の流れを知る。</td></tr>
<tr><td>授業計画
学習内容</td><td colspan="7">ドラムのマルチマイク・マルチトラックレコーディング
ボーカルのオーバーダビング
エディット
ミックスダウン</td></tr>
<tr><td>成績評価
方法</td><td colspan="7">レポート、課題提出および授業への積極的参加による</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>学科</td><td colspan="4">ミュージカル＆ステージスタッフ科</td><td>系列</td><td colspan="2">専門科目</td></tr>
<tr><td>授業科目</td><td colspan="4">演習　舞台制作の基礎Ⅱ</td><td>授業方法</td><td colspan="2">演習</td></tr>
<tr><td>開講年次</td><td>2年次</td><td>開講時期</td><td>前期</td><td>授業時数</td><td>46</td><td>単位</td><td>2</td></tr>
<tr><td>担当教員</td><td colspan="2">上島雪夫
春風ひとみ　ほか</td><td>担当教員
実務経験</td><td colspan="4">各教員の実務経験は授業計画欄に記載</td></tr>
<tr><td>授業概要</td><td colspan="7">舞台制作を模擬的に行う中で、全員が出演者とスタッフの役割を経験し、ミュージカル公演をつくり上げる</td></tr>
<tr><td>到達目標</td><td colspan="7">出演者のおかれる環境を理解し、スタッフとしての実務作業・技術を習得する</td></tr>
<tr><td>授業計画
学習内容</td><td colspan="7">・担当教員監修の台本に目を通し、劇中歌を確認する
・グループに分かれ、スタッフとしての役職／演者としての役決めを行う
・台本の指示に沿った効果音の制作／照明プラン作成
・使用機材選定、音響・照明システム図の作成
・担当教員による振付および演出指導の受講
・稽古／ゲネプロ／本番発表

担当教員の実務経験：
上島：劇団四季を経てダンサー、振付家として活躍。演出家としても多数の
ミュー　ジカル作品を手掛ける。
春風：宝塚歌劇団出身。舞台・映画・テレビ番組に広く出演。文化庁芸術祭賞・大賞ほか演劇やミュージカル出演での受賞歴多数。</td></tr>
<tr><td>成績評価
方法</td><td colspan="7">100点を満点とし、授業への参加姿勢・レポート・出席点の総合評価で行い、60点以上に単位を付与する。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>学科</td><td colspan="4">ミュージカル＆ステージスタッフ科</td><td>系列</td><td colspan="2">専門科目</td></tr>
<tr><td>授業科目</td><td colspan="4">舞台音響</td><td>授業方法</td><td colspan="2">演習</td></tr>
<tr><td>開講年次</td><td>2年次</td><td>開講時期</td><td>前期</td><td>授業時数</td><td>16</td><td>単位</td><td>1</td></tr>
<tr><td>担当教員</td><td colspan="2">石丸耕一
白石安紀</td><td>担当教員
実務経験</td><td colspan="4">舞台音響家として歌舞伎座、新橋演舞場などで音響に従事。東京芸術劇場統括。（石丸）
長年に渡り、商業演劇の現場で音響・ワイヤレスケア業務に従事。（白石）</td></tr>
<tr><td>授業概要</td><td colspan="7">演劇に関する音響機器の取り扱いやマイクチューニングの実習</td></tr>
<tr><td>到達目標</td><td colspan="7">ワイヤレスマイクの取り扱いや出演者に対するケア方法の習得</td></tr>
<tr><td>授業計画
学習内容</td><td colspan="7">1.オリエンテーション
　台本に沿ったマイクオペレートのレクチャー
2.演劇におけるワイヤレスマイクのチューニング方法
3.実技演習
　ワイヤレスケアのレクチャー
4.実技演習
　ワイヤレスマイクのチューニング</td></tr>
<tr><td>成績評価
方法</td><td colspan="7">100点を満点とし、レポート・出席点の総合評価で行い、60点以上に単位を付与する。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>学科</td><td colspan="4">ミュージカル＆ステージスタッフ科</td><td>系列</td><td colspan="2">専門科目</td></tr>
<tr><td>授業科目</td><td colspan="4">演劇・ミュージカル研究Ⅱ</td><td>授業方法</td><td colspan="2">講義</td></tr>
<tr><td>開講年次</td><td>2年次</td><td>開講時期</td><td>前期</td><td>授業時数</td><td>22</td><td>単位</td><td>1</td></tr>
<tr><td>担当教員</td><td colspan="2">見上陽一郎</td><td>担当教員
実務経験</td><td colspan="4">ー</td></tr>
<tr><td>授業概要</td><td colspan="7">自ら選択したテーマに基づき、演劇に関する研究を行い、発表内容を動画として提出する。動画は相互に鑑賞して、質疑応答、評価を行う。</td></tr>
<tr><td>到達目標</td><td colspan="7">演劇研究と他者の研究発表内容を視聴することを通じて演劇に関する知識を拡張、深化させる。また動画制作やそのアップロード方法、著作隣接権についての知識も深める。</td></tr>
<tr><td>授業計画
学習内容</td><td colspan="7">（1）研究テーマ決定
（2）研究内容の動画化
（3）動画視聴
（4）質疑応答、プレゼンテーション相互評価</td></tr>
<tr><td>成績評価
方法</td><td colspan="7">100点を満点とし、プレゼンテーションの出来栄えおよび出席点の総合評価で行い、60点以上に単位を付与する。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>学科</td><td colspan="4">ミュージカル＆ステージスタッフ科</td><td>系列</td><td colspan="2">専門科目</td></tr>
<tr><td>授業科目</td><td colspan="4">演習　照明実技Ⅱ</td><td>授業方法</td><td colspan="2">演習</td></tr>
<tr><td>開講年次</td><td>2年次</td><td>開講時期</td><td>前期</td><td>授業時数</td><td>16</td><td>単位</td><td>1</td></tr>
<tr><td>担当教員</td><td colspan="2">赤本龍太</td><td>担当教員
実務経験</td><td colspan="4">ライブハウスの照明技術を経て、長年に渡り音楽ライブや演劇の照明デザイナーとして活躍。</td></tr>
<tr><td>授業概要</td><td colspan="7">中型ホールでの照明プランニング・オペレート技術の実習</td></tr>
<tr><td>到達目標</td><td colspan="7">中型ホールでの照明プランニング・オペレート技術にかかる実技の習得</td></tr>
<tr><td>授業計画
学習内容</td><td colspan="7">1.オリエンテーション / 会場・使用灯体の説明
2.グループに分かれ、台本とプラン作成
3.学内施設でのプランリハーサル
4.学外ホールでのプラン実践</td></tr>
<tr><td>成績評価
方法</td><td colspan="7">100点を満点とし、授業への参加姿勢・プランの完成度・出席点の総合評価で行い、60点以上に単位を付与する。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>学科</td><td colspan="4">ミュージカル＆ステージスタッフ科</td><td>系列</td><td colspan="2">専門科目</td></tr>
<tr><td>授業科目</td><td colspan="4">舞台照明デザイン演習</td><td>授業方法</td><td colspan="2">演習</td></tr>
<tr><td>開講年次</td><td>2年次</td><td>開講時期</td><td>前期</td><td>授業時数</td><td>16</td><td>単位</td><td>1</td></tr>
<tr><td>担当教員</td><td colspan="2">高橋登志江</td><td>担当教員
実務経験</td><td colspan="4">舞台照明家。多くのステージ作品の照明デザインを手掛ける。</td></tr>
<tr><td>授業概要</td><td colspan="7">台本の指示に沿ったプラン作成及びオペレート</td></tr>
<tr><td>到達目標</td><td colspan="7">台本の指示に沿ったプラン作成及びオペレート技術の習得</td></tr>
<tr><td>授業計画
学習内容</td><td colspan="7">1.オリエンテーション / 台本説明
2.プラン図面に従って仕込み / シュート
3.講師が担当した公演の映像を鑑賞、プランを深める
4.実技試験</td></tr>
<tr><td>成績評価
方法</td><td colspan="7">100点を満点とし、実技試験・出席点の総合評価で行い、60点以上に単位を付与する。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>学科</td><td colspan="4">ミュージカル＆ステージスタッフ科</td><td>系列</td><td colspan="2">専門科目</td></tr>
<tr><td>授業科目</td><td colspan="4">演習　機器オペレーションIII</td><td>授業方法</td><td colspan="2">演習</td></tr>
<tr><td>開講年次</td><td>2年次</td><td>開講時期</td><td>前期</td><td>授業時数</td><td>18</td><td>単位</td><td>1</td></tr>
<tr><td>担当教員</td><td colspan="2">近藤頌ほか</td><td>担当教員
実務経験</td><td colspan="4">ー</td></tr>
<tr><td>授業概要</td><td colspan="7">1年次授業の演習・実習内容と施設・機材の使用法を復習し、応用的な音響/映像/機材やPCソフトウェアの使用法をさらに学ぶ。</td></tr>
<tr><td>到達目標</td><td colspan="7">ソフトウェア等と専門機器それぞれを理解し、それらを組み合わせたシステム構築と使用法を習得する。</td></tr>
<tr><td>授業計画
学習内容</td><td colspan="7">PCソフトウェア種類説明
・photoshop
・illustrator
・ProTools
・premiere pro
・Media Encoder
学内スタジオ機器説明
・音響ミキシングコンソール(アナログ卓・デジタル卓・タブレット/PC型)
・映像収録用カメラ/照明機材の種類について
・撮影素材のデータ変換および取込みの方法
映像作品の制作実施
・コンクール用ショート映像コンテンツ</td></tr>
<tr><td>成績評価
方法</td><td colspan="7">100点を満点とし、筆記試験・実技試験・レポート・出席点の総合評価で行い、60点以上に単位を付与する。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>学科</td><td colspan="4">ミュージカル＆ステージスタッフ科</td><td>系列</td><td colspan="2">専門科目</td></tr>
<tr><td>授業科目</td><td colspan="4">ステージ制作インターンシップ</td><td>授業方法</td><td colspan="2">実習</td></tr>
<tr><td>開講年次</td><td>2年次</td><td>開講時期</td><td>前期</td><td>授業時数</td><td>40</td><td>単位</td><td>1</td></tr>
<tr><td>担当教員</td><td colspan="2">ブイラボミュージカル
ほか</td><td>担当教員
実務経験</td><td colspan="4">ー</td></tr>
<tr><td>授業概要</td><td colspan="7">ミュージカル団体「ブイラボミュージカル」の公演、稽古に制作／音響／照明／映像スタッフとして参加して、実践的な対応力を養う</td></tr>
<tr><td>到達目標</td><td colspan="7">各セクションにおける仕事の内容や進め方を知るとともに、他セクションとの連携がスムースに取れるようになる</td></tr>
<tr><td>授業計画
学習内容</td><td colspan="7">台本配布～顔合わせ～本読み立ち合い～
音響／照明プラン作成～音源／動画用意～仕込み～
稽古立ち合い～ゲネプロ～
本番～バラシに至る一連の制作技術工程を作品ごとに踏んでいく。</td></tr>
<tr><td>成績評価
方法</td><td colspan="7">100点を満点とし、レポート・出席点の総合評価で行い、60点以上に単位を付与する。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>学科</td><td colspan="4">ライブ音響・コンサートスタッフ科</td><td>系列</td><td colspan="2">総合・その他</td></tr>
<tr><td>授業科目</td><td colspan="4">演習　音芸オリエンテーション</td><td>授業方法</td><td colspan="2">演習</td></tr>
<tr><td>開講年次</td><td>2年次</td><td>開講時期</td><td>前期</td><td>授業時数</td><td>30</td><td>単位</td><td>2</td></tr>
<tr><td>担当教員</td><td colspan="2">各担当</td><td>担当教員
実務経験</td><td colspan="4">ー</td></tr>
<tr><td>授業概要</td><td colspan="7">１・２年生合同の班編成で各コンテンツをローテーションで受講する。（コンテンツ内容及び担当教員は授業計画学習内容参照）</td></tr>
<tr><td>到達目標</td><td colspan="7">・学年、学科の枠をこえて学内で学生同士がつながりを持てるようにする
・先輩、後輩間に「教え・教えられ」の関係が生まれるきっかけの場の提供
・多様なコンテンツを通じて音響技術、技能習得へのモチベーションを高める</td></tr>
<tr><td>授業計画
学習内容</td><td colspan="7">見上…『エコーチェンバー』教室を使って反響音を作り出す
楠元…『ビートメイク』身近な音を加工、編集してビートを作ってみる
波多腰…『テープレコーダー』オープンリールの操作、録音、再生を体験☒
高橋…『タテ動画+アフレコ』動画撮影してアフレコ
溝淵…『ライブハウス∞体験』音響、照明、出演の体験
近藤…『吹奏楽比較試聴』コンクールの演奏を聴き、違いについて話し合う
芹沢…『Live2D制作』Live2Dを使って静止画を動かす体験</td></tr>
<tr><td>成績評価
方法</td><td colspan="7">100点を満点としレポート・出席点の総合評価で行い、60点以上に単位を付与する。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>学科</td><td colspan="4">ミュージカル＆ステージスタッフ科</td><td>系列</td><td colspan="2">総合・その他</td></tr>
<tr><td>授業科目</td><td colspan="4">ビジネス実務</td><td>授業方法</td><td colspan="2">講義</td></tr>
<tr><td>開講年次</td><td>2年次</td><td>開講時期</td><td>前期</td><td>授業時数</td><td>16</td><td>単位</td><td>1</td></tr>
<tr><td>担当教員</td><td colspan="2">近藤頌　髙橋喜朗</td><td>担当教員
実務経験</td><td colspan="4">ー</td></tr>
<tr><td>授業概要</td><td colspan="7">就職活動や就業時のマナー、書類作成に関するスキルの向上をはかる</td></tr>
<tr><td>到達目標</td><td colspan="7">基礎的なビジネスマナーの習得</td></tr>
<tr><td>授業計画
学習内容</td><td colspan="7">・採用担当が就活生に求めるものとは
・自己分析
・自己PRとは
・ビジネスメールのマナー
・電話応対のマナー
・模擬作文試験
・ポートフォリオ作成</td></tr>
<tr><td>成績評価
方法</td><td colspan="7">100点を満点とし、授業への参加姿勢・出席点の総合評価で行い、60点以上に単位を付与する。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>学科</td><td colspan="4">ミュージカル＆ステージスタッフ科</td><td>系列</td><td colspan="2">総合・その他</td></tr>
<tr><td>授業科目</td><td colspan="4">卒業制作</td><td>授業方法</td><td colspan="2">実習</td></tr>
<tr><td>開講年次</td><td>2年次</td><td>開講時期</td><td>前・後期</td><td>授業時数</td><td>592</td><td>単位</td><td>25</td></tr>
<tr><td>担当教員</td><td colspan="2">近藤頌</td><td>担当教員
実務経験</td><td colspan="4">ー</td></tr>
<tr><td>授業概要</td><td colspan="7">これまで学んできた知識や技術を生かし、自信が主体となり作品を作り上げる。</td></tr>
<tr><td>到達目標</td><td colspan="7">作品を企画から制作し、完成させる。</td></tr>
<tr><td>授業計画
学習内容</td><td colspan="7">・作品の研究と分析
・企画立案と企画書作成
・構成・脚本・制作意図について
・作品制作、発表へ向けての準備
・YouTubeをプラットフォームとし、動画作品をオンライン発表</td></tr>
<tr><td>成績評価
方法</td><td colspan="7">100点を満点とし、レポート・出席点の総合評価で行い、60点以上に単位を付与する。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>学科</td><td colspan="4">ミュージカル＆ステージスタッフ科</td><td>系列</td><td colspan="2">総合・その他</td></tr>
<tr><td>授業科目</td><td colspan="4">ガイダンス</td><td>授業方法</td><td colspan="2">講義</td></tr>
<tr><td>開講年次</td><td>2年次</td><td>開講時期</td><td>前・後期</td><td>授業時数</td><td>16</td><td>単位</td><td>ー</td></tr>
<tr><td>担当教員</td><td colspan="2">近藤頌</td><td>担当教員
実務経験</td><td colspan="4">ー</td></tr>
<tr><td>授業概要</td><td colspan="7">受講、学校生活、インターンシップ、就職活動などに関する指導、情報提供</td></tr>
<tr><td>到達目標</td><td colspan="7">受講、学校生活、インターンシップ、就職活動などに関する理解を促進し、学生が安心して就学できるよう支援する</td></tr>
<tr><td>授業計画
学習内容</td><td colspan="7">1. 新学年オリエンテーション（シラバス／学則の説明など）
2. 重要度の高い新規カリキュラム開始にあたってのオリエンテーション
3. インターンシップ、アルバイト募集、就活促進等に関する説明など</td></tr>
<tr><td>成績評価
方法</td><td colspan="7">ー</td></tr>
</table>